

## 講演会のご案内

# 気候危機対策に伴う熱帯森林と先住民族の喪失 ～エネルギー問題再考

日本各地で拡大する太陽光パネルや風力などの自然再生エネルギー、そして電気自動車。しかしそれらを作るのに必須の希少金属など鉱物資源はどこからどのように調達されているのでしょうか。長年関わってこられたアフリカ中央部コンゴ盆地の熱帯林地帯などでの問題を取り上げ、資源開発に伴う森林消失や先住民族のライフスタイルへの影響についての具体的事例を紹介していただきます。

そして、気候危機対策を推し進めた場合のこうした希少金属の可採年限や毒性物質の存在などをも考慮に入れながら、とりわけ資源のない日本における今後のエネルギー課題について、西原先生とともに会場のみなさんも参加して一緒に考えてみたいと思います。

日時

2021年4月21日(水) 13:30～16:00

場所

石狩市学び交流センター 研修室1

(石狩市花川北3条3丁目1番地 0133-74-8889)

参加費

500円(資料代ほか)

※マスクの着用をお願いします



講師

西原 智昭 星槎大学共生科学部 特任教授  
WCS (Wildlife Conservation Society) 自然環境保全研究員



約30年間コンゴ共和国やガボンなどアフリカ中央部熱帯林地帯にて、野生生物の研究調査、国立公園管理、熱帯林・生物多様性保全に従事。現在、星槎大学共生科学部・特任教授および国際NGO・WCS (Wildlife Conservation Society; 本部ニューヨーク) の自然環境保全研究員。京都大学理学部人類進化論研究室出身、理学博士 (<https://doctor-nishihara.com/>)。 (1) 人類の起源と進化、野生生物・森林生態系および地球環境保全、(2) 生物多様性と文化多様性のバランスへ向けた模索、(3) 先住民族問題、(4) エシカルライフの提言・推奨、(5) 日本列島人のあり方探求などに取り組む。

主催・問い合わせ 石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

安田 ☎090-6211-1602

<http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>